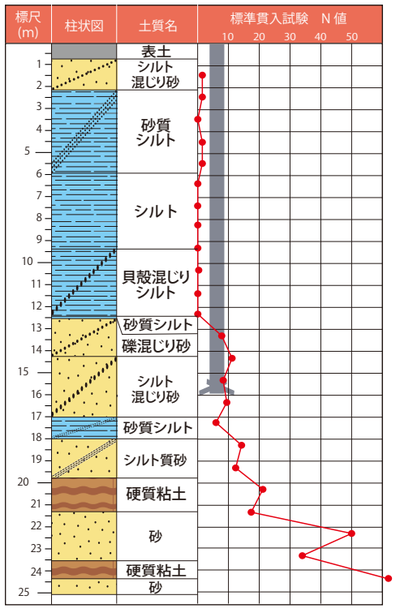
# 三誠グループはさまざまな条件下で、最良のソリューションを提供しています。

## 東北自動車道Ｂ蓮田ＳＡ（新上り線）スマートＥＴＣ設備工事

### ECS-TP工法で通行の邪魔にならない小さな基礎を施工しました。

ETC無線装置支柱は、PAのETC専用出入口に設置するもの。道路のすぐ傍に設置する装置のため、極力小さな基礎にする必要があります。ところが、今回の現場は軟弱地盤だったので、通常工法では大きな基礎になりますが、スペース確保が難しい状態でした。解決策として選択したのが、ECS-TP工法。杭柱一体工法なので、基礎を小さくすることができました。

**ボーリング柱状図**



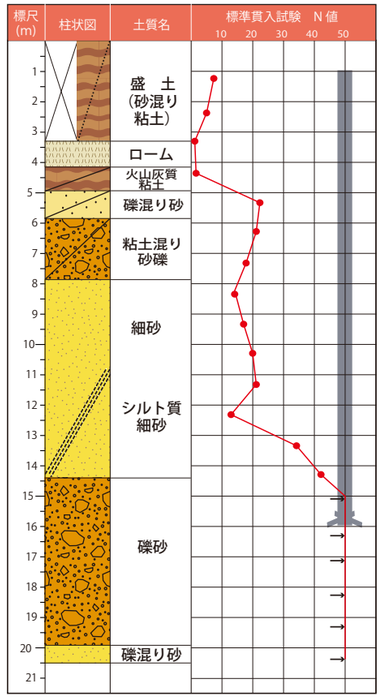

| 構造物概要 | ECS-TP 工法 | | |
|---|---|---|---|
| 名称 | 東北自動車道Ｂ蓮田ＳＡ（新上り線）スマートＥＴＣ設備工事 | | |
| 施工場所 | 埼玉県蓮田市 | 杭の種類 | φ216.3、φ267.4 |
| 用途 | ETC 設備基礎 | 杭長 | 16m |
| 構造 | —— | 本数 | 2 本 |
| 設計支持力 | 106.13kN、73.34kN | 杭先端深度 | GL-16.25m |
| 先端 N 値 | 6 | 施工年月日 | 2021年10月（2日間） |

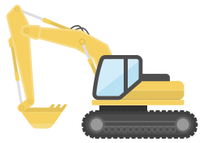
## 茨城中央サテライトセンター

### 安全を考慮してG-ECSパイル工法が採用されました。

通販大手企業の新規倉庫棟及び土間下、危険物棟×2棟建設のための施工でしたが、45日間での工事完成が必要ということで、不確定な盛土高や支持層不陸を考慮しながら、1061本の杭を機械5台投入にて打設しました。この現場は、PHC（コンクリート杭）やアースドリル工法では打ち止めが難しいと元請様が判断し、鋼管杭ならば現場対応が簡単という理由で、当社のG-ECSパイル工法が採用されました。

**ボーリング柱状図**



| 構造物概要 | G-ECS パイル工法 | | |
|---|---|---|---|
| 名称 | 茨城中央サテライトセンター新築工事 | | |
| 施工場所 | 茨城県東茨城郡 | 杭の種類 | φ216.3、φ267.4、φ318.5、φ406.4 |
| 用途 | 物流倉庫 | 杭長 | 14m、15m、16m |
| 構造 | Ｓ造１階 | 本数 | 1061 本 |
| 設計支持力 | 611.0kN、884.0kN、1244.0kN、1565.0kN | 杭先端深度 | FL-16.66m |
| 先端 N 値 | 50 | 施工年月日 | 2020年2月～2020年4月（38日間） |


株式会社 三誠
SANSEI INC.
本社
TEL：03-3551-0211　FAX：03-3551-0217
ホームページ　https://sansei-inc.co.jp/　メールアドレス　info@sansei-inc.co.jp
〒104-0033　東京都中央区新川 1-8-8 アクロス新川ビル９階　　編集・発行 / 株式会社 三誠　SANSEI NEWS 事務局
北海道営業所 / 東北営業所 / 新潟営業所 / 北陸出張所 / 北関東営業所 / 東京支店 / 千葉出張所 / 神奈川出張所 / 関西営業所 / 中部営業所 / 中四国営業所 / 九州営業所 / 沖縄営業所


お問い合わせは、メール info@sansei-inc.co.jp
または、FAX 03-3551-0217（担当 営業管理課 小林）まで


G-ECSパイルの三誠がお届けするインフォメーション・ペーパー
# SANSEI NEWS
編集・発行人 / 株式会社三誠 SANSEI NEWS 事務局　本社〒104-0033 東京都中央区新川 1-8-8 アクロス新川ビル９階
TEL：03-3551-0211　FAX：03-3551-0217　ホームページ https://www.sansei-inc.co.jp
2022 July Vol.37


## 新商品情報

### 拡大翼を装備した新型 N-ECS パイル

N-ECSパイルは、2019年に、粘土質地盤での国土交通省大臣認定を取得していましたが、本年3月25日に新たに「砂・礫質地盤」での国土交通省大臣認定を取得しました。

同じN-ECSパイルですが、今回認定を受けた製品は、新しいコンセプトのもので、次のような特長があります。

**■これまでのN-ECSパイルより大きい翼**（以下、拡大翼N-ECSと表記）**を開発し、φ165.2～φ406.4の7種の杭径で、翼サイズの選択が可能に**

**■大きな杭径の2製品、φ457.2、φ508.0を追加（翼は1種類のみ）**

翼サイズのラインナップが増えたことで、今まで深い支持層で設計していたものでも、N値の小さな中間支持層で支持することが可能になりました。

事前に近隣の地盤調査資料を用いて設計しても、現地の地盤調査の結果、想定より支持地盤が柔らかい場合があります。そのようなときは、杭径を大きくしたり、２本打ちをするような設計変更が必要でしたが、拡大翼N-ECSの登場で、同じ杭径パイルの翼サイズの違うものを使用することで設計変更の必要はなくなります。

### 杭径に対し最大 3.29 倍の大きな翼

φ165.2～φ406.4の杭では、それぞれ複数の翼サイズを用意しました。実績の多いφ267.4ではA、B、Cの3タイプ、その他のサイズではA、Bの2タイプを用意しました。

φ267.4の等価円直径（翼部の面積と等価な円の直径）は、A=733.4㎜、B=798.0㎜、C=880.6㎜を用意し、それぞれ杭径に対する等価円直径の羽根径比は、A=2.74倍、B＝2.98倍、C=3.29倍となっています。

また、大きな杭径がラインナップに加わったことで土木分野への進出が加速します。

●拡大翼N-ECSは同じ杭径でも翼サイズの選択が可能に

| 杭径 Dp（㎜） | 拡大翼 N-ECS 呼称 | 等価円直径 Dw | Dw/Dp |
|---|---|---|---|
| 267.4 | 267.4A | 733.4 | 2.74 |
| | 267.4B | 798.0 | 2.98 |
| | 267.4C | 880.6 | 3.29 |

※等価円直径 = 翼部の面積と等価な円の直径

●パイル製品 ラインナップイメージ

### 「呼称」を使用し間違い防止を徹底

今回の新製品の登場で、三誠では初めて製品に「呼称」をつけました。翼のバリエーションが増えることでの混乱と間違いを避けるため「318.5A」「406.4B」のように、杭径と翼のタイプを呼称として用います。

呼称を使用することで、拡大翼N-ECSと標準翼N-ECSとの区別を明確に示せるようにしました。ラインナップが増えたことで、製造品質・施工品質の管理をより一層強化いたします。

新製品が加わったことで、お客様のニーズに更に応えられるようになりましたが、これからも誠心・誠意・誠実に提案し、対応してまいります。今後もお客様の声に耳を傾け、技術開発を続けていきます。

（左から）
技術開発部開発課長　笠原康弘
取締役　営業本部長　高浜通
技術本部次長　天野一弥

## Topics

### 中部営業所を移転しました

中部営業所は、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県西部を担当エリアとしていますが、6月27日より、新オフィスでの業務を開始しました。

錦２丁目から錦１丁目への移転ということで、旧事務所から徒歩６～７分の引っ越し。ビルの最上階なので眺めも抜群です。

塩谷所長以下７人のメンバーは、**「新オフィスへの移転を機に中部営業所は新たなステージに挑みます。今期のテーマ"Awake the Future～変化を楽しもう～を合言葉にし、移転が営業所のステップアップになるよう、所員一丸で邁進します」**と張り切っています。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

＜新住所＞
〒460-0003　愛知県名古屋市
中区錦1-7-32　名古屋SIビル9階西
電話　052-203-8551
FAX　052-203-8552
（電話、FAX番号は変更ありません）

# 3年ぶりに安全協力会総会を開催
# 延労働時間30万時間の無事故、無災害を報告

三誠 常務取締役　佐藤　学

2019年以来、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった安全協力会総会を、3年ぶりに開催しました。感染拡大防止対策として、全国を次のように4ブロックに分け、一堂に介する人数を極力抑えての実施でした。

■5月20日～5月21日：関西・中部・中四国ブロック（会場・リーガロイヤルホテル〈大阪〉＊増築工事をG-ECSパイルで施工した会場）
■5月27日：関東ブロック（会場・つきじ治作）
■6月10日～6月11日：九州・沖縄ブロック（会場・沖縄ハーバービューホテル）
■6月17日～6月18日：北海道・東北・新潟ブロック（会場・登別グランドホテル　＊改修工事をG-ECSパイルで施工した会場）

関東ブロックの総会では、冒頭に東日本安全協力会の渡邊会長のご挨拶をいただき、弊社社長・丹羽伸治より、「1月末締めの第27期決算で過去最高の売上達成」の報告と御礼をいたしました。また、一昨年10月以来無事故、無災害を継続し、昨年度には延労働時間30万時間の無事故、無災害記録を達成いたしました。この記録達成に感謝の意を表すべく、施工会社、運送会社の皆様を表彰させていただきました。

会議では、安全協力会活動、安全衛生管理方針、工事安全に関する施工協力体制等について議論いたしました。そして、今年度の安全衛生管理計画基本方針である「安全はすべてに優先する」をさらに継続し、無事故、無災害目標時間を32万時間とすることに決定しました。

▲総会で感謝の意を伝える
弊社社長・丹羽伸治

▲コロナ感染対策を考慮して実施した
東日本安全協力会総会

さらに、5月にリリースした拡大翼・大径杭の、砂・礫質地盤対応のN-ECSパイルに関する安全管理、品質管理面の注意事項の共有、意見交換もなされました。今回の製品は翼が大きくなり、大径のものでは1tを超える重量があり、これまで経験のない作業も入ってきます。重量が増すことでバランスが変わってきたり、荷さばき、吊り位置などにも充分な確認が必要となります。

また、これまでは杭径ごとにひとつの翼サイズしかありませんでしたが、新たにひとつの杭径に異なるサイズの翼が付くラインナップが増加したので、製品の取り違え防止、事故防止に各部署と入念な打合せが必要なことを確認いたしました。

無事故、無災害記録は現在も継続中で、今年度も達成すべく安全宣言を行い散会となりました。

このような状況下での開催に関しては賛否両論ありましたが、会を無事終え改めて、製造、運搬、施工に関わる協力会社の皆様の存在の大きさを感じ、感謝の気持ちをより一層強くいたしました。

＊延労働時間＝（出勤延人員×所定労働時間）＋時間外労働時間（休日出勤を含む）

## 東西工事部長紹介

### 東日本工事部 部長　石原 久永

**夢と希望とプライドに溢れた厳しくも仲の良い、強力チーム**

工事部は、設計、開発、技術、営業、管理などの各部署が繋いできたボールを、しっかりとゴールに蹴り込んで得点をあげる仕事です。東西工事部に分かれていますが、皆さんの努力を形にするために、きちんと現場を仕上げる気持ちはまったく一緒です。

東日本工事部は、部長、次長が各1名、工事課26名、工務技術課2名、業務課2名の総勢32名のチーム。工務技術課、業務課は東西工事部全体に関わる仕事をしています。

北海道、東北、新潟に常駐するメンバーとも、コミュニケーションを円滑にする努力をしていますが、新型コロナ禍のため、全員が一堂に会して集まることができないのが残念です。

私は、2013年10月に、約30年間勤務した安藤建設（現在は安藤・間）から三誠に入社しました。工事部の仕事は、元請様、設計者様も様々、杭を打ち込む地盤も様々、現場それぞれで環境が変わるという難しさもありますが、それに挑戦するのが楽しみでもあります。難しい現場を皆の力を結集して完了し、元請様・設計者様から感謝の言葉をいただけたときは心から喜べます。

特に趣味はありませんが、休日の妻との買い物は恒例行事、外食もしますが、やはり妻の手料理が一番。どんなものでも◎です。

### 西日本工事部 部長　林 剛史

**地面の中は施工して初めてわかるが、どんな現場でも所定品質は絶対確保**

西日本工事部は15名のチームですが、中部営業所、関西営業所、中四国営業所、九州営業所、沖縄営業所と広いエリアで仕事をしています。各営業所常駐のメンバーが多いので、チームワークをしっかり行うことに気をつけています。業務面では、関西営業所と九州営業所に常駐の2人の次長さんが、全体の舵取りをしてくれているので、大いに助かっています。

私たちの仕事は、「杭」という商品を、お客様の元にお届けし、満足していただく役割です。それだけに、とても重要な業務だということを肝に銘じて仕事をしています。

地面の下の仕事は、実際に施工してみないとわからないことが多いものですが、「三誠クオリティ」の確保は必須です。試験杭の時は、設計者様、元請様など立ち会い者が多い中で施工を行いますが、想定外の事態が発生したときでも、的確な対処を迅速に行わなくてはなりません。それでも、元請様・設計者様の反応がダイレクトに伝わる満足感があり、感謝の言葉をいただけたときが、最もやりがいを感じる瞬間です。

これまでは飲み会やバーベキューで結束を高めていましたが、コロナ禍でやりづらくなっています。それでも、チームワークを固める工夫をしっかり行っていきたいと思います。

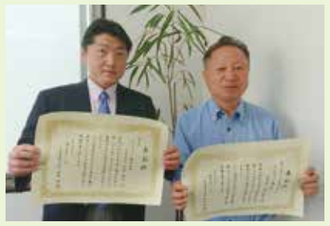


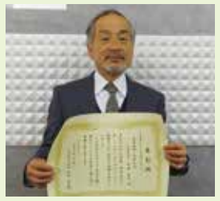
BASEBALL CONTEST
2021年度
# ベースボールコンテスト
## 最終結果発表
## サンテクノ株式会社様がMVP連覇記録更新！

約100社の販売店様に参加いただいた2021年度のベースボールコンテスト（2021年2月1日～2022年1月31日）が終了しました。長引くコロナ禍の影響で、今年もまた集合での表彰式を行うことができず「出前表彰」の形をとらざるを得ませんでした。優秀な成績を収められた各賞の受賞社（1位のみ）をこの誌面で紹介させていただきます。

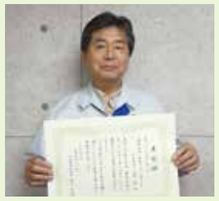
皆さまのおかげで、この困難な状況にもかかわらず売上が伸びるという嬉しい結果となりました。ご参加いただいたすべての販売店様に厚く御礼申し上げます。

2022年度のベースボールコンテストは、既に2月1日に開幕し、各地での熱戦が始まっていますが、来年度は皆様とご一緒に、盛大な表彰式を実施できることを願っております。引き続きよろしくお願いいたします。


●MVP（関西・中部リーグ1位も獲得）
**サンテクノ株式会社様**
サンテクノ山本眞吾社長と弊社 丹羽社長


●西東京リーグ1位
**前田商事有限会社** 様

●東東京リーグ1位
**株式会社タケミ企画** 様


●関東リーグ1位
**株式会社山井アーバンテクノス** 様

●北海道・東北・新潟リーグ1位
**株式会社北雄産業** 様

●中四国・九州・沖縄リーグ1位
**有限会社エーアンドエフ** 様

●ゴールデングラブ賞
**株式会社クラフトマン** 様

●新人賞
**株式会社ロア産業** 様

## 当社の新戦力です！よろしくお願いします。

＊写真は左から
黒川、會田、
岩本

**応援団で学んだ「協力関係づくり」を仕事の場に活かします。**

黒川 陸斗
（大阪大学外国語学科ペルシア語専攻）

大学ではペルシア語を専攻し、ペルシア語や、ペルシア語を話すイランという国について学んでいました。イランには美人が多いので、交流を深めたいと思ったのが学習動機（笑）。

応援団に所属し、団長として活動しました。運動部の対外試合の応援のためには、授業を犠牲にすることもしばしば。スキー部の応援には、太鼓を担いで雪山に登り、すさまじい吹雪に負けまいと、元気いっぱいに応援した思い出があります。

応援団では、自分たちだけではなく、周囲の人たちも巻き込んで大きな声援をつくり上げることを学びました。また、関西七大学での連携も、様々な面で成長させてくれました。このような経験を仕事の場に活かし、三誠の名前だけで、仕事内容が通じるように、認知度を高める努力をしていきたいと思っています。

**視野の広いビジネスパーソンを目指し、経験値を増やします。**

會田 美由樹
（聖心女子大学文学部心理学科）

高校まで広島で暮らし、バドミントン、弓道をやっていましたが、弓道の魅力はとても大きく、東京の大学のサークル活動でも、袴姿で矢を射ることに熱中していました。高校時代に広島県で個人6位になったことがあります。

大学では臨床心理学を学んでいました。心の働きや発達、老化などの身近なテーマに触れるので、非常に興味深く学習できました。

当初は営業志望で入社しましたが、入社後に考え方が変わりました。様々な業務を経験し、たくさんのことを経験したいと思うようになったのです。

経験値が増えれば増えるほど、広い視点で物事を見ることができるようになり、それが問題解決に役立ち、周囲からの信頼を得ることにもつながると思っています。周りの方々に助けていただきながら、少しずつ視野を広げていきたいと思います。

**「元気」という名前に負けないように、エネルギッシュに頑張ります。**

岩本 元気
（福井工業大学環境情報学部デザイン学科）

大学ではデザインを専攻。デザインするときに重要なのは、課題を解決する力。「物事に、どのように取り組み、課題を解決していくか」をデザインを通して学ぶことができました。

中学校ではサッカー部、高校ではヨット部、大学では弓道部に所属していましたが、スポーツ経験からも学ぶことが多かったと思います。サッカーではチームワークと苦楽をみんなで分け合うこと、ヨットでは頭と体の両方をフルに使って動くこと、弓道では、姿勢の重要性を学びました。姿勢がいい日は、何本打っても的中しますが、そうでない日は一本もあたりません。

また、部長やキャプテンを任される機会に恵まれ、メンバーの信頼を得て、チームをまとめることも学べました。このような経験を活かし、自分の行動に責任を持てる社会人になりたいと思います。